

# CO<sub>2</sub>の排出情報の公開と商品への表示に対する消費者の意識に関するインターネット調査

平成20年7月

国土交通省 国土交通政策研究所

株式会社NTTデータ経営研究所

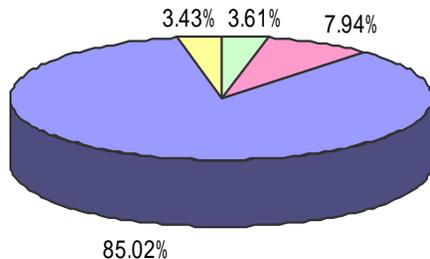
# 調査条件

- 調査実施期間：2008年6月13日～16日
- 調査対象：埼玉、東京、神奈川、千葉在住 20～40代男女
- 調査方法：gooリサーチを利用したWebアンケート調査
- 有効回答数：554

# 問1:地球環境の保護のため、あなた自身どの程度貢献したいと思いますか。

1	相当な出費をしても貢献したい(太陽光発電の家にする、ハイブリッド車に乗り換えるなど)	20	3.61%
2	ある程度の出費をしても貢献したい(エコファンドへの投資など)	44	7.94%
3	日々の消費活動でこまめに貢献したい(エコバッグの利用、無駄な電気の消灯など)	471	85.02%
4	自分が貢献しても意味がない	19	3.43%

N=554



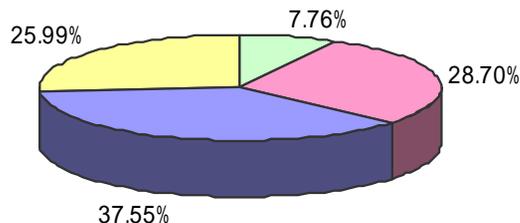
約85%の回答者が地球環境保護への貢献は、日常の消費活動にて貢献したいと考えており、コストを負担しての貢献については12%程度にとどまっている。

相当な出費をしても貢献したいと考える回答者は4%程度であるが、自分が貢献しても意味がないとする回答者も同様に4%程度となっている。

## 問2: 商品の環境に関する情報について、どの程度表示されることが良いと思いますか。

1	環境に関する情報の表示は、商品選択の際の参考とはならない	43	7.76%
2	マークなどにより環境に配慮している商品であることが分かる表示で十分である	159	28.70%
3	他の類似商品との間で比較できる表示(例えば、1つ星、2つ星、3つ星や金、銀、銅などの格付け等)が必要である	208	37.55%
4	CO <sub>2</sub> 排出量やリサイクルされた材料の使用率など、環境負荷に係る数値の表示が必要である	144	25.99%

N=554



約60%の回答者が、他の類似商品との間で比較できる表示、あるいは、数値表示を必要と考えている。

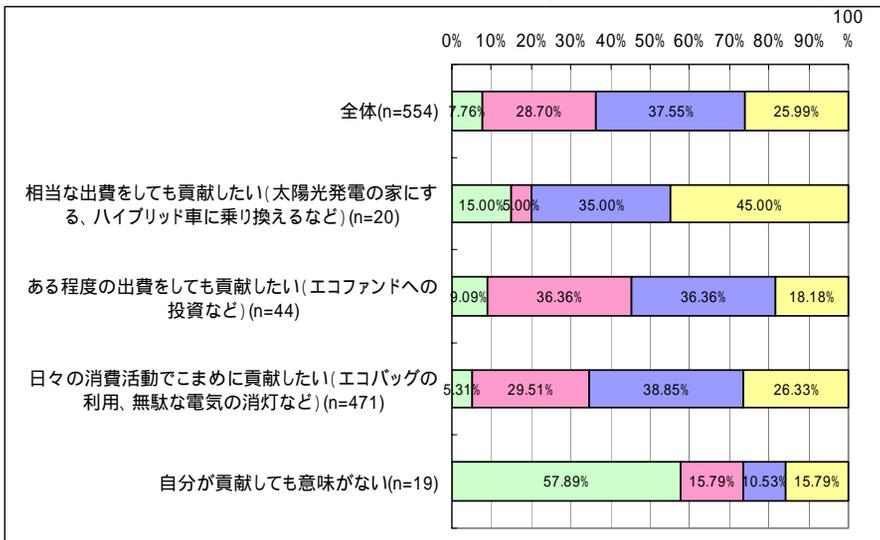
環境に関する情報表示を参考としないとの回答者が8%程度あった。

問1: 地球環境の保護のため、あなた自身どの程度貢献したいと思いますか。

X (クロス集計結果)

問2: 商品の環境に関する情報について、どの程度表示されることが良いと思いますか。

	全体(N)	環境に関する情報の表示は、商品選択の際の参考とはならない	マークなどにより環境に配慮している商品であることが分かる表示で十分である	他の類似商品との間で比較できる表示(例えば、1つ星、2つ星、3つ星や金、銀、銅などの格付け等)が必要である	CO2排出量やリサイクルされた材料の使用率など、環境負荷に係る数値の表示が必要である
全体(n=554)	554	7.76%	28.70%	37.55%	25.99%
相当な出費をしても貢献したい(太陽光発電の家にする、ハイブリッド車に乗り換えるなど)(n=20)	20	15%	5%	35%	45%
ある程度の出費をしても貢献したい(エコファンドへの投資など)(n=44)	44	9.09%	36.36%	36.36%	18.18%
日々の消費活動でこまめに貢献したい(エコバッグの利用、無駄な電気の消灯など)(n=471)	471	5.31%	29.51%	38.85%	26.33%
自分が貢献しても意味がない(n=19)	19	57.89%	15.79%	10.53%	15.79%



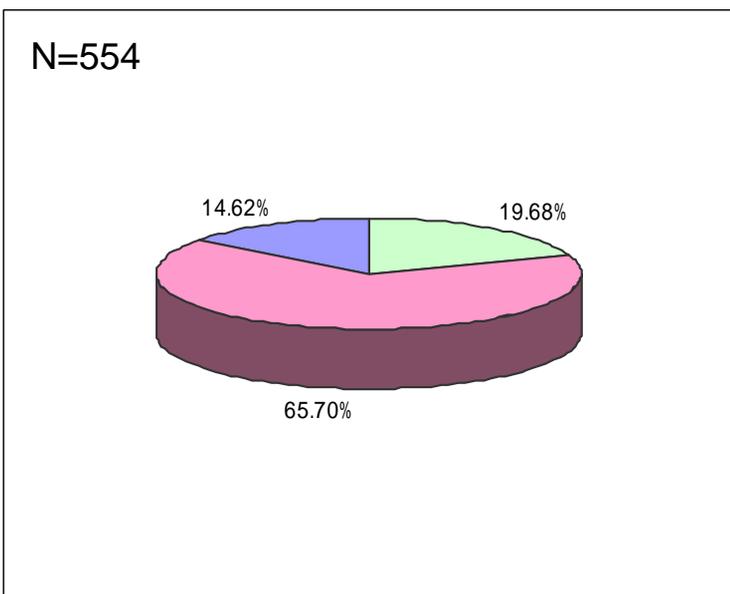
全体では、比較できる表示が必要、マークなどにより環境に配慮した製品であるとの表示で十分、数値の表示が必要の順となった。

問1において、「相当な出費をしても貢献したい」と回答している回答者の内、約80%が比較できる又は数値の表示が必要との考えを示している。

問1において、「日々の消費活動にて貢献したい」と回答している回答者の内、約65%が比較できる又は数値の表示が必要との考えを示している。

問3 製造から廃棄に至るまでのCO2排出量が表示された商品(食料品や一般消費財を想定)を購入したいと思いますか？(価格は類似商品と変わらないことが前提)

1	是非積極的に購入したい	109	19.68%
2	購入しても良い	364	65.70%
3	CO2排出量の表示は商品選択の判断にはならない	81	14.62%



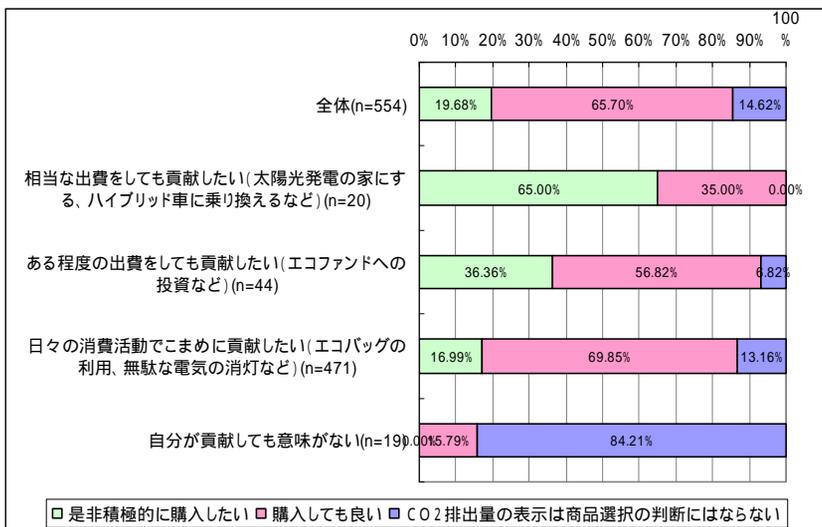
約85%の回答者が、CO2排出量が表示された商品の購入につき前向きな考えを示している。(価格は類似商品と変わらないことが前提)

問1: 地球環境の保護のため、あなた自身どの程度貢献したいと思いますか。

X (クロス集計結果)

問3: 製造から廃棄に至るまでのCO2排出量が表示された商品(食料品や一般消費財を想定)を購入したいと思いますか？

	全体(N)	是非積極的に購入したい	購入しても良い	CO2排出量の表示は商品選択の判断にはならない
全体(n=554)	554	19.68%	65.70%	14.62%
相当な出費をしても貢献したい(太陽光発電の家にする、ハイブリッド車に乗り換えるなど)(n=20)	20	65%	35%	0%
ある程度の出費をしても貢献したい(エコファンドへの投資など)(n=44)	44	36.36%	56.82%	6.82%
日々の消費活動でこまめに貢献したい(エコバッグの利用、無駄な電気の消灯など)(n=471)	471	16.99%	69.85%	13.16%
自分が貢献しても意味がない(n=19)	19	0%	15.79%	84.21%

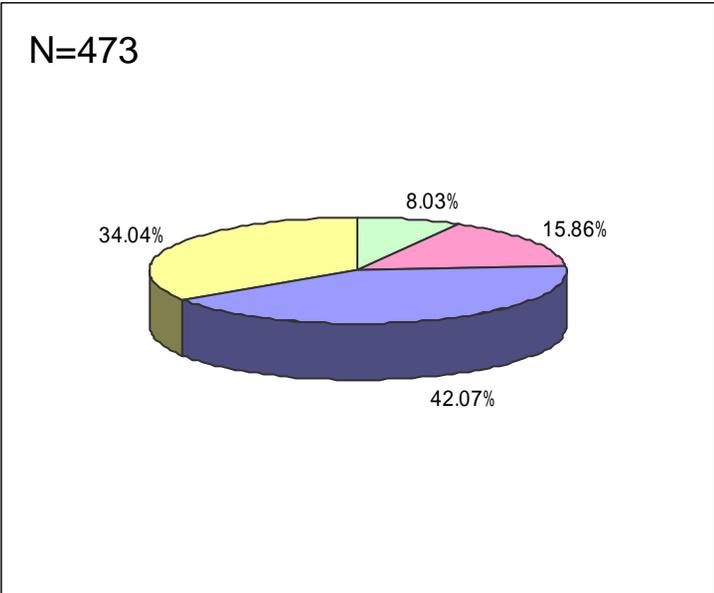


問1において、「相当な出費をしても貢献したい」と回答している回答者の内、約65%がCO2排出量が表示された商品の購入について、是非積極的に購入したいとの考えを示している。

問1において、「日々の消費活動にて貢献したい」と回答している回答者の内、約85%がCO2排出量が表示された商品の購入について、前向きな考えを示している。

問4: 製造から廃棄に至るまでのCO2排出量が表示された商品が、表示されていない類似商品より価格が高い場合、購入したいと思いますか。

1	商品価格が高い(例えば家電製品)安い(例えば飲料)に関わらず、10%程度の価格増であれば購入したい	38	8.03%
2	商品価格が高い場合は10%程度、安い場合には5%程度の価格増であれば購入したい	75	15.86%
3	商品価格が高い安いに関わらず、5%程度の価格増であれば購入したい	199	42.07%
4	価格が高くなるのであれば、CO2排出量が表示されている商品は購入しない	161	34.04%



問3において、前向きな回答をした回答者の内、約66%が、価格が高くなっても購入する考えを示している。

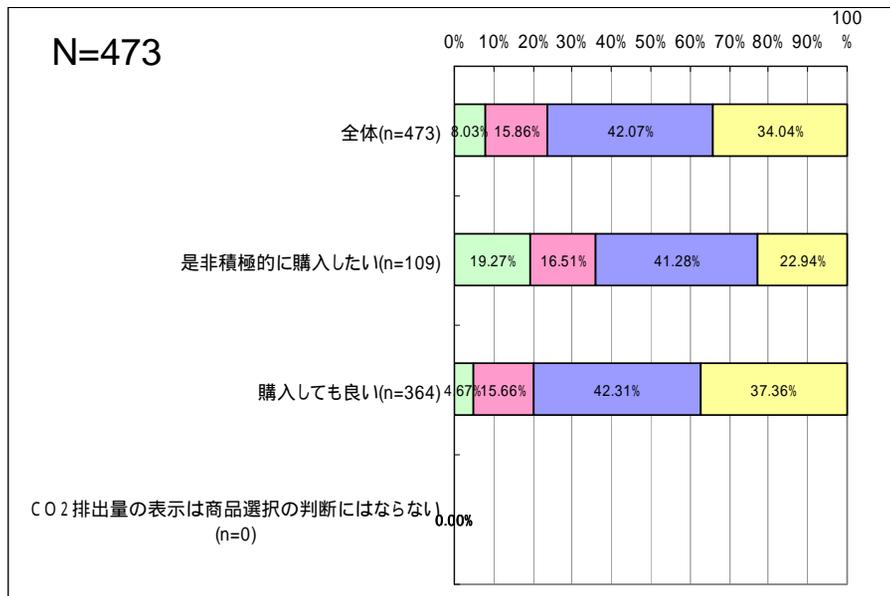
約42%の回答者が、5%程度の価格増であれば購入する考えを示している。

問3: 製造から廃棄に至るまでのCO2排出量が表示された商品(食料品や一般消費財を想定)を購入したいと思いませんか？

X (クロス集計結果)

問4: 製造から廃棄に至るまでのCO2排出量が表示された商品が、表示されていない類似商品より価格が高い場合、購入したいと思いませんか？

	全体(N)	商品価格が高い(例えば家電製品)安い(例えば飲料)に関わらず、10%程度の価格増であれば購入したい	商品価格が高い場合は10%程度、安い場合には5%程度の価格増であれば購入したい	商品価格が高い安いに関わらず、5%程度の価格増であれば購入したい	価格が高くなるのであれば、CO2排出量が表示されている商品は購入しない
全体(n=473)	473	8.03%	15.86%	42.07%	34.04%
是非積極的に購入したい(n=109)	109	19.27%	16.51%	41.28%	22.94%
購入しても良い(n=364)	364	4.67%	15.66%	42.31%	37.36%
CO2排出量の表示は商品選択の判断にはならない(n=0)	0	0%	0%	0%	0%

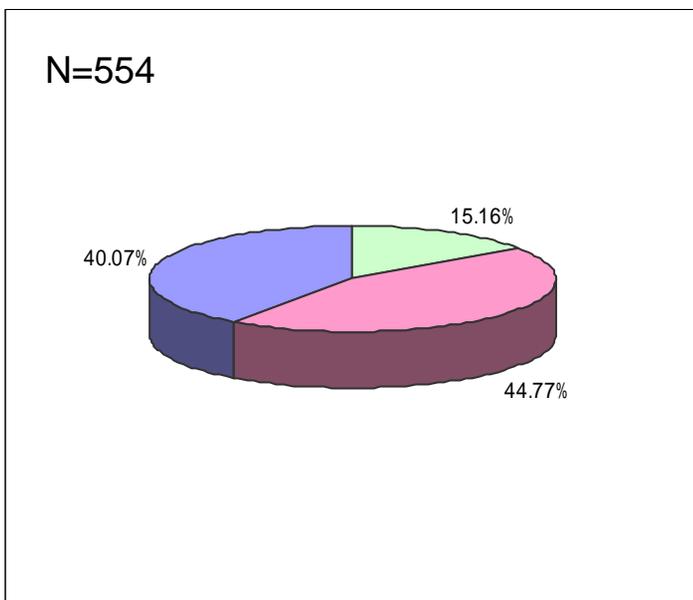


問3において、「積極的に購入したい」と回答している回答者のうち、20%弱が10%程度の価格増でも購入する考えを示している。

他方、「積極的に購入したい」と回答している回答者であっても、約20%は価格が高くなるのであれば、購入しないとしている。

## 問5:「カーボンオフセット」という言葉をご存知ですか。

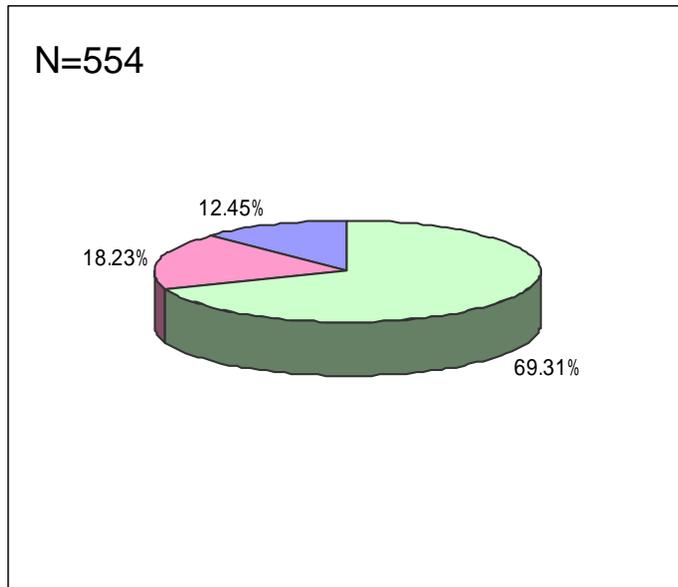
1	よく知っている	84	15.16%
2	聞いたことがあるが意味は分からない	248	44.77%
3	全く聞いたことがない	222	40.07%



約60%の回答者が、「カーボンオフセット」という言葉を認識している。

問6: 我が国において企業や販売店が「カーボンオフセット」商品の販売や「カーボンオフセット」サービスの提供を行うことをどのようにお考えですか。

1	「カーボンオフセット」は社会全体として見たとき、CO <sub>2</sub> 排出量を相殺するものであるので、良いことであるし、企業や販売店の取り組みに協力していきたいと思う	384	69.31%
2	良いこととは思わない	101	18.23%
3	関心がない	69	12.45%

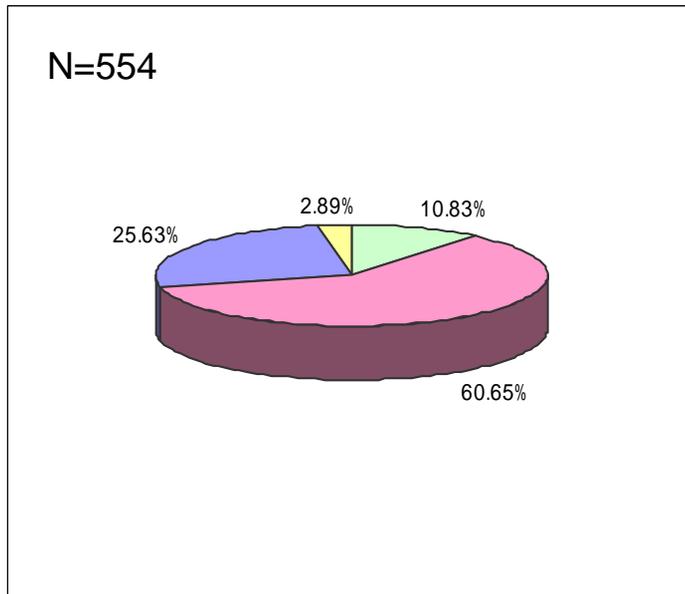


約70%の回答者が、「カーボンオフセット」商品の販売や、サービスの提供に対して、協力的な考えを示している。

約20%の回答者が、「カーボンオフセット」に対して、良いこととは思わないという考えを示している。(主な理由:意味がよく分からない、排出していることには変わりがない、自ら削減すべき、お金での解決には疑問等)

問8:「カーボンオフセット」された商品(食料品や一般消費財を想定)を購入したいと思いますか。

1	是非積極的に購入したい	60	10.83%
2	購入しても良い	336	60.65%
3	「カーボンオフセット」は商品選択の判断にはならない	142	25.63%
4	「カーボンオフセット」された商品は購入したくない	16	2.89%

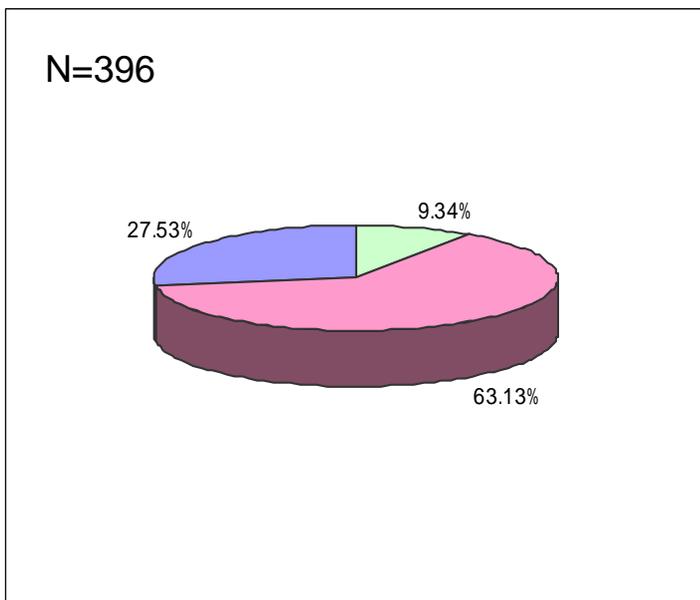


約70%の回答者が、「カーボンオフセット」商品の購入に対して、前向きな考えを示している。

約30%の回答者が、「カーボンオフセット」商品は選択の判断にならない、あるいは購入したくないとの考えを示している。(主な理由:最終的には価格の問題、好みのブランドを選ぶ、排出していることには変わりがない、オフセットに疑問がある、他人任せであるから等)

問9:「カーボンオフセット」された商品が、「カーボンオフセット」されていない類似商品(ここでは、通常価格200円のペットボトルのお茶を想定ください)より価格が高い場合、購入したいと思いますか。

1	価格が10%程度(20円程度)高くても購入したい	37	9.34%
2	少し高い5%程度(10円程度)であれば購入したい	250	63.13%
3	価格が高いのであれば購入しない	109	27.53%



問8において、前向きな回答をした回答者の内、約70%の回答者が、10~20円程度の負担であれば「カーボンオフセット」商品の購入に対して、前向きな考えを示している。

約30%の回答者が、価格が高くなるのであれば、「カーボンオフセット」商品は購入しないとの考えを示している。